

5 自由意見

(1) 男女共同参画社会に関する考え方について

- ・男女平等社会とは、男性も女性も同じことをして同じ利益を得るような体制での取り組みのように見えますが、男女では体力的にも思考も違うため、男性には男性の、女性には女性にあった位置付けで役割を持ち参画していることを、男女とも隔たりなく尊重しあうことが平等と考えます。
(女性 40 歳代)
- ・男女が同じように仕事をし、家事をするのが男女平等ではないと思います。男に家事や育児をさせることばかり考えては社会の発展はないと思います。(人類の発展も)平等というなら男も子どもを産んだらいいです。どうして女か子どもを産めないのか、では男はどうすべきか、根本からよく考えるべきです。(女性 40 歳代)
- ・アンケートを見て、女性の立場の向上に重点を置いているが、私は、親から女性には優しくと教育されて来ております。弱いものをいじめるなということですが、女性でも専門職で経済的にも自立していく人はたくさんいます。結婚をして、子どもを産むことが、女性の幸せなのかと考えることがあります。(男性 60 歳代)
- ・男が仕事をするとか、女が家事をするとか、決める必要は無いと思います。その家庭ごとに考えがあると思うから、社会が決めることではないです。ただ、その家庭の家族が選んだことを進めていくことができる社会の仕組みがあると、家庭内で不満を抱えず過ごして行けると思います。ご苦労様です。(女性 30 歳代)
- ・余計なことかもしれませんが一言、男女共同の文字ですが男が先に書いてあるのはどうかと思います。ピープル共同参画社会がいいと思います。(女性 60 歳代)
- ・必要性を感じません。(男性 30 歳代)
- ・男女平等は、平等でいい時期もあるが、男女平等になってはならないことがあります。(例)男女平等を間違っって考えている人が多い、男性と女性の役割は違うと思う、男性は昔に比べると威厳が無くなっています。お互いに尊敬しあえば、平等という考えは出てこないと思うし、議論することではないと思います。(男性 60 歳代)
- ・昭和 30 年代の女性の感覚からすれば、男女共同参加は思いもしなかったが、今の時代は必要であり自然、当然のことでも、何時の代であっても男は男らしく、女は女らしく毅然と生きてほしいです。(女性 70 歳以上)
- ・高齢者ゆえ考え方が古いと自分でも承知しているつもりでも、よく子ども(46 歳)に古いなあと言われます。実際に当たってみないと、ああしろ、こうしなさいでは解らないので、いい機会になりました。(女性 70 歳以上)
- ・男女共同参画社会づくりに付いて誰が唱えているのでしょうか。お役所的考えと思われる。(男性 50 歳代)
- ・男女共同参画社会づくりを知りませんでした。(女性 70 歳以上)
- ・アンケートの設問自体にジェンダーバイアスがかかっています。作成する方の意識も問いなおして下さい。(女性 40 歳代)
- ・「妻」は奴隷でも召使でもないのに、「夫」を社会または妻自らが「主人」「旦那」と呼ぶようではいけないと思います。比較的、若い人たちには男女平等意識は浸透し、行動も伴っているように思うが、年配の男性の意識、考え方を変えない限り、日本の男社会は変わらないと思います。
(女性 50 歳代)
- ・男女平等といわれているこの頃ですが、まだまだ男性の方が上だと思っています。女性は子育てに

家事、そして仕事をこなしている人がたくさんいます。私もその1人です。男性がもっと家事や子育てに協力してくれるといいと思います。これからは子育てが大変だと思います。夫婦が協力していい子に育ていい大人になるようにしていかなければならないと思います。(女性 50歳代)

- 昔とは変わって来ているとは言っても、まだまだ戦中戦後すぐに産まれた人が生きてるので、その人達の考え(男が主)を変えることは難しく、また、その人達に育てられた人達の考えを変えることも難しいと思います。現在の10代や20代前半の男の子達は、たよりない、男らしくないという声を聞いたことがあります。その子達の方が、よっぽど女性に協力しているのではないのでしょうか。政治の中味を変えるのは難しいと同じように、一度昔くさい考え方が身に付いてしまった人の考え方をを変えるのは、99%むずかしい。そういう人たちの中にいる私は我慢するしかないです。何か意見をしても、聞き入れてもらえないし、(そういう人と結婚した私がバカなのですが)意見したことでイヤな気持ちになるのなら、何も言わず我慢した方がいいと思うようになってしまいました。(女性 30歳代)
- 男女平等とは言ってもそれぞれ特性があります。男はやはり仕事で経済的な責任、女性は家族の健康、家事等をバランスよく保って行くのが良いと思います。そしてお互いに協力し合っていく。自然だと思います。男女共同参画と言って学校の名簿まで男女一緒にする、なんでも一緒にする等は考えものです。従来の良いところは残して新しい形の共同参画が良いと思います。
(女性 60歳代)
- 男女共同参画社会というのは大変良いことだとおもいます。がしかし、私が考えるには根底の所には男にしかできないこと、女にしかできないことがあるので、そのグループ、例えば家庭、地域、職場、社会といった所でお互いによく話し合い、一番良いあり方を見つけ出す。そして納得して参画する所に男女の平等があるように思います。家庭の崩壊、社会の崩壊につながる危険が付きまわっているように思います。(男性 60歳代)
- 今回のアンケートで男女平等を考えさせられました。元々人間は動物です。他の動物と違うのは道具を使えること、またそれを考えて作ることでできる動物です。ゆえに悲しいかな男女の体の創りが違います。そのことを考えると、一概に男女平等と言えなくなってしまうのではないのでしょうか。男性は赤ちゃんを産めないのです。女性は赤ちゃんを産めるのです。その体の創りを考えると、男にはできないこと、女にはできないことがあることが、わかって来るのではないのでしょうか、私もこの年になってから男女の違いを、受け入れるようになってきたと思います。しかし家庭の中で、地域の中で会社の中で、日本の中で、世界の中で1人の人間として法律の上で、また人々の考えの中で男女平等でなければならない。それが自然と男は男、女は女であるという考えが生まれてくることは、悲しいかな輪が日本国の、成り立ちにあるのではないかと私は考えます。男女の体の違いを弁えた上で男女平等であることを、教育の場で教えていくべきです。(女性 50歳代)
- 男女平等社会になってほしいと思いますが、やはり男は仕事、女は家庭を守る母であってほしいと思います。女性は優しいお母さん、共働きの方は2人で力を合わせて、家事も子育てもがんばってほしいです。戦後女性が強くなったと言いますが、やはり男性を大切に思い、感謝の心をいつまでも持って、年を取っても仲良く楽しい人生を過ごしてほしいと思います。65歳女性
(女性 60歳代)
- 男女平等といいつつ、男性でないといけないこと、女性でないといけないこと、また、同じ男性(同じ女性)同士でも能力の違いがあり、何もかもを平等扱いにするには、無理があると思います。それに各家庭でもそれぞれの生活があるので、全てのことが当てはまる分けではないので、男女平等を進めるには、仕事の内容、個人の能力など考慮していかなければならないことがたくさんあると思います。何もかも平等というのを理由にやりたくないこと、できないことを強制される可能性もあります。できないなら止めてくれなどということも考えられます。(女性 40歳代)
- 男女共同参画については、女性の社会進出により、出産、育児等で社会復帰できない女性から出たものと考えられますが、男性には出産はできず、女性がこのようになるのは仕方がないことであると思います。社会構造の変化により共働きでなければ、所得水準生活レベルが維持できないため、女性が社会で働くことになっているのですから、女性が働かなくても生活できる社会構造でなければ、この問題は解決しないと思います。そのため子の問題は市のレベルでの対応は不可能であるので、上記の通り不要であると考えます。女性が家庭から離れ、育児も0歳から保育園に入れて、親にとって子どもを育て、立派な大人にしていく親の使命はどこにあるのでしょうか。親が育児を確

りとしてこそ、まともな社会になるのではないのでしょうか。男性がより働けば良いのです。
(男性 30 歳代)

- 物事には男性しかできないこと、女性しかできないことが多々あります。男女平等社会は全てではないことを認識し、互いの協力と理解で行動する環境社会でありたい。(男性 70 歳以上)
- 行政の関与すべきこととは思いません。ただし、昨今の風潮は、女性が不平等に優遇され、男性の人権が、軽視されている、逆差別が起こっているように見えます。男は男らしく、女は女らしくあってほしいです。これが秩序だと思います。それぞれの役割が異なるので、均等法に問題があります。基本的人権の確立なくして、男女共同参画社会は望むべくもありません。(男性 70 歳以上)
- 私共のように年齢の多い者には、ちょっと考えられない内容もあります。(男性 70 歳以上)
- 「男女」と言っている時点で、性別が違うことを強調してしまっているように感じます。男が女がというのではなく、一人一人が暮らし易くするために、どうすればよいかという視点で考えてほしいです。(女性 20 歳代)
- 昔型の考えでは、男、女を区別した考え方になると思うが、今時の若い人達を見ているとことさら平等にとか言わなくても、自然と子育て等協力しているように思います。男並みに働く女の人もいるし、ということがすでに男女平等の考え方からは、ずれているのかも知れません。同じように仕事をしていても家庭のことは、女性に負担が大きく、決して平等とはいえないがそれは仕方がないと思います。(女性 50 歳代)
- 男性も女性も、大人、子ども全ての人が人に対して、生きとし生ける者に対し思いやる心を持って接することが大切だと思います。(女性 60 歳代)
- 男女の差別はよくないが、区別はあって良いと思います。男性も女性も本人の意志で職業、家事の選択ができるようになるのは理想ですが、全ての人間が自分のしたいことだけを選択して生きて行けるわけではないので、一人一人に多くの我慢は必要だと思います。私個人は勤めをフルタイムでしていますが、現実、家事と仕事を持つ人に両立させるのは難しいと思います。(女性 30 歳代)
- 今の所、男女平等について、経験、知識、体力等適正に行なわれており、特に問題ありと感じたことはありません。(男性 60 歳代)
- 「男女平等」と言えると思います。本当の意味合いをよく理解してから行動してほしいです。男女ともよく勉強が必要です。役割分担は適材適所、男女の特色を活かすべきだと考えます。最近、家庭内の女性は発言力も強くなり、地位も高くなっています。今後は会話することが重要と考えています。(男性 60 歳代)
- 私は 67 歳ですが、男女平等について、男の仕事、女の仕事と体力の違いがあるように、育児を男がやるのが平等とは思いません。(女性 60 歳代)
- 男女共同参画社会づくりは良いことだと思うが、とにかく女性は自分が不利、都合の悪いことがあると女性だからを理由に逃れることが応応にしています。男女共同参画について自覚と認識を持つべきです。(男性 70 歳以上)
- 昔に比べ女性が強くなったと感じるし、平等になったと思うが、未だ一部に旧態然な部分もあると思います。(男性 60 歳代)
- 特に若い女性に甘えを無くし、そして男も女も同じ人間であるとの自覚が必要だと思います。例え力仕事でも、女性でもできることは自分ですべきだと思います。(女性 60 歳代)
- ややもすれば女性の社会進出が素晴らしい、と捕らえられがちであるが、男性には男性の、女性には女性の昔からの役割、得意分野があります。男女の差別はやめるべきではあるが、役割区分は必要です。能力の効用と各々の意識のバランスを取ることが大事であって、差別をあおるような話し合いは無用であると思います。(男性 30 歳代)
- 三つ子の魂百までと母がよく言っていました。現代の社会はアンバランスだと思います。年を重ねた人達と頭の考え方が違います。若い人達は素晴らしいと思います。英語だって知っているし、そ

の違いをひしひしと感じます。(女性 70歳以上)

- すでに50歳代で、このようなことを考えずに育てられ、結婚も31年になり希望は色々ありますが、ずいぶん日本社会も女性が一人でも生活して行けるようになったと思います。女性参画は少子化の問題とセットになっているようにも思います。母親として申し上げるとなれば、二人の息子には、やはりしっかりとした家庭を守ってくれる女性が望ましいです。まだまだこの年齢の(私のような)人達にはこのアンケートは、大変難しいのです。希望と現実がずいぶん入り混じった回答となってしまったように思います。(女性 50歳代)
- 女性、男性と大きく二つに分けているが、それ自体が古いような気がします。個々の個性を尊重する必要があります。同じ女性でも社会に出て働きたい人と、家庭で過ごしたい人などひとそれぞれだと思います。(男性 30歳代)
- いくら会社が制度を設けて教育しても、小さい頃からの家庭環境で培ってきたものは、なかなか変えられないと思います。子どもは親を見て育ちます。お父さんがお母さんを軽視し接する姿を見て育った子どもは、結婚してもお嫁さんのことを軽視したりします。やはり、小さい頃からの家庭環境、教育が重要だと思います。大人の(男性)に今から必死に教育しても根本的なものは余り変わらないと思います。(しないよりはいいかと思いますが)だから本当に今後の子どもの将来のことを考えた制度を設けてほしいと思います。三つ子の魂百までとはよく言いますが、本当に小さい頃に育つ家庭環境等は大切だと思います。(女性 30歳代)
- 完全なる男女平等という社会は必要ないと思います。男性優位、女性優位であるべきポイントを見失っては本末転倒です。学校教育の場においては特に重要だと考えます。(男性 20歳代)

(2) 家庭生活について

- 男女共同とは少々異なりますが、介護については、同居家族だけが負担するのではなく、親、子、の関係にある者が分担して負担するような法的制度を考えたいです。必ずしも、経済力のある者が同居している訳ではなく、無責任な者は同居せずに何の負担もなく、話もせず暮らして居る現状です。子が全員で負担しなければならないように法的に、制度を設けていただけたらと良く思います。(女性 20歳代)
- 女性は女性らしく母として妻として仕事があることを第一と考えます。男性は強く生きるべき、仕事をまじめに大切にする父親として、後ろ姿を見せられる必要と思います。家事・ゴミ捨て・育児などに参加する必要は無いと思います。(女性 40歳代)
- 親の介護は男女で協力してやるべきです。自分の経験から自宅介護は本人も自分の家が良く毎日のように言っていました。寝たきりで病院を4ヶ所5年近く入院している間に自分で介護部屋に改造して4年5か月夫婦で介護しました。昔は女の仕事だと言われていたことも今は男も手伝うべきだと思います。(男性 60歳代)
- 男女共同の言葉に対して、子育てにおいては、女性任せの家庭が多いです。最近では、夫婦で勤めている家庭でも、女性の負担が多く見られます。(女性 70歳以上)
- 夫婦、家族で家を守ることです。もっと家庭を見つめることが大切です。(女性 70歳以上)
- 昔からの色々な風習も悪くは無いが、臨機応変に新しいことを入れていくのも悪くないと思います。男女平等という言葉は若い人たちには浸透しているが、年配になるほど男女差別が厳しいと思います。男だから、女だからではなく、できる人がやれば良いと思うし、また、それを当たり前としないで一人一人が思いあって協力して、やっていくことが大事だと思います。私の場合、女は家事、育児をして当然という夫に仕事の理解もしてもらえなく、全部自分1人で背負い込んで体を壊し、結婚生活を続けていくことができなくなりました。愛し合って結婚するのなら子どもは二人の子どもで、二人でなんでも話し合っ、協力し合っ仲良くやっていけば子どもも率直ないい子に育つと思います。何か話がそれたかも知れませんが、皆で行動しあうことは大切なことだと思います。(女性 40歳代)

- ・家族単位として二世帯が良いと思います。男女が職業を持った場合、現在の状態では片方に負担が多くなります。また、生活経験者が同居していると子どもの病気その他アドバイスが受けられ、コンビニ受診や救急車の乱用も少なくなると思います。(女性 60歳代)
- ・家事負担は、個人の責任だと思います。個人がきちんとしていれば、家族もうまくいきます。行政が介入するものではないと思います。(男性 30歳代)

(3) 子育て・教育について

- ・今現在年子(孫 1/25 日出産予定)の上の子 9 か月の子がいるため、東京から岡崎へ里帰り出産を願っていました。しかし、市内、近郊の病院全て入院出産を受け入れていただけず、途方に暮れています。保健所でも適切な相談にのってもらえず、そのような場合、相談に応じて頂ける窓口があったらとありがたいです。お尋ねの趣旨と違いましたすみません。(女性 70歳以上)
- ・子どもが病気をした時に預けられるような施設など、女性の働きやすい環境を整えてください。(男性 30歳代)
- ・子育てに関して言えば、全てが男女平等ということはありません。共働きが増えてきたが、その分子どもに対する愛情や言葉かけ、食事の支度や子育ての手抜き(母乳で育てない等)が増えてきました。共働きしている間、ゲームや携帯パソコンでのメール遊びが多くなり、自分勝手に考え行動する子どもが育ってきたのは残念です。男と女の子育ての役割分担をはっきりさせそれを認めていくような社会づくりをしていかないと真の意味での豊かな家庭生活はつくれないように思います。子育てもしっかりして、更に共働きも保障されるような社会づくりをしていくことが大切だと思います。北欧社会のような国づくりが大切になってくると思います。(男性 50歳代)
- ・今回の設問は男女平等、共同参画についてのものであったが、いささか疑問があります。まず、母親が仕事を持った場合、必然的に子どもにしわ寄せがきます。たとえ、施策が充実したところで、子どもにとっては幼少時には母親は大切で大きな存在であるから、少しでも多くの時間を子どもと過ごすことが理想であり、また、まっとうな大人に成長するには大切なことです。現在の男女共同参画は子どもの犠牲の上に成り立つと思われまます。仕事を続ける上では、子どもは障害になります。奇麗事を並べられてもそれが事実です。会社は低賃金化が進み、男性一人の稼ぎでは多くの子どもを育てる経済力はなくなり、労働時間はみなし残業等の悪性度のために実際の労働時間は過去より増大し、一人当たりの事務量も責任も増大しています。男の子育て参加などは迷言に感じてしまいます。その上、PTA、子ども会などはそれに追い討ちをかけ、疲労している世代に休憩の時間を奪っていつています。多くの世帯で、金銭的にそれ程余裕が無いから共働きをするし、そのため、子どもはもう少しほしいが難しいと感じていると思う。(男性 40歳代)
- ・子育て支援は、職場の職員が虫食い状態となり、残された職員でこなしています。だから、自分の子どものために割く時間は減らされても、職場の育児休業者の面倒は見ているような形となり、個人的には何も得るものは無い状態です。(男性 40歳代)
- ・男女平等を都合の良い勝手な考え方をもっている方もいます。社会の中における平等意識が育児を保育所や学校にまかせ、働くことを理由に避けている親もいます。特に乳児の小さい内から特に生活に困っているわけでもないのに、長時間預け、休みがあってもそれは自分のために使っている人がいます。単身者と育児年代(特に3歳未満)で分けて考えなければならないと思います。家庭で育児をがんばっている人にもサービスがほしい。今の社会の育児は施設が育てているようにしか思えない。せめて乳児のうち家庭での元で過ごすことができるように安心して育児ができ、その後安心して就労できるようにしてほしい。(女性 40歳代)
- ・保育園で孫がお世話になりましたが、あまりに行事の多さ、役員の割り当て、保育園に関する全ての意味がどこにあるのか、仕事を持つ人間にとって厳しいものと思いました。が、また、小学校に通うようになると、奉仕作業、保護者会、全ての行事(運動会を除く)が平日にあり、女は家庭にいたるべきだという条件の下での考え方で、母子家庭に対する思いやりが配慮されていません。保護者会等は時間外も受け付けてくってもらえません。仕事を持っている人は残業当たり前だと思います。現実には、どの企業も採用を控えて多忙な毎日です。働く人が倒れたら家庭はたちまち崩壊です。理

解のできない小学校にもう少しの配慮を求めたいものです。社会の仕組みが公共であるべき団体が率先して弱者の味方として働くべきではと考えますが、次の保護者会からでも対応できることと期待します。簡単なことから始めてほしいものです。期待すべき問題は、ずいぶんありますが、困っている問題から提示します。こういう機会を与えてもらえて有難う御座いました。(女性 60歳代)

- ・私は結婚を機に、岡崎市に住んでおります。妻は都市部の出身ですが、子どもが生まれてすら感じること、岡崎市は「子育て」に対する支援が、他自治体より充実していると思います。妻も感じております。(男性 30歳代)
- ・現状は変えられないが、将来に向けてよりよき社会にするために、小、中、高校の授業から男女、女男平等の意識で教育することが重要だと思います。しかし、か弱き者は助けるとの教育も同時にすることが大切です。(性別不明 50歳代)
- ・男女平等について学習力を上げていくことが必要だと思います。地域等にお助け所(子ども一時預かり、老人預かり等)を設ける必要があると思います。(福祉施設の拡充)。(男性 50歳代)
- ・少しずつ共同参画社会ができつつあるなどと思っています。子ども達は大丈夫でしょうか、帰宅する両親を待っている間の心の成長のことを考えています。私は1人のお母さんを週一回午前中家に招いて2~3時間遊んでもらっています。上の子は出産前からもう直ぐ3歳になり、この子が病院に行く時など、下の3か月過ぎの子と留守をしています。老人の力がどこかで活けるといいと思っています。(女性 70歳以上)
- ・昔のように他人の子どもさんでも、悪いことをした時に叱ることのできるようになればよいです。(例)お母さんいわく、だれだれさんが見ているでしょう。じゃあ、見ていなければしても良いのかということになります。今の若いお母さんは、子どもの頃叱られ方が違うのではないのでしょうか。自分の子どもであればどんなに強く叱っても子どもは親を見ています。子どもはばかではありません親をしっかり見ています。親は死ぬまで親です。子どもをかわいくない親はいません。私も子どもを3人産んで、子どもを見ていると私のしてきた同じことを孫にしていると思います。すこしこわいです。(女性 50歳代)
- ・現在息子がしないの保育園に通園しております。妻は土、日が出勤の仕事に付いており、私も以前は土、日出勤の仕事に付いておりました。サービス業では平日休み、土日出勤は当然のことです。保育施設は土日も行ってもらえるようになると良いと思います。(男性 30歳代)
- ・岡崎市がこのテーマに取り組んでいることを知り安心しました。以前、安部内閣になった時、また、男は仕事、女は家庭という通念が復活し、1部学校では、クラス名簿の男が先、女が後というのが、また復活したりと折角、各地方自治体で取組んで来た男女共同参画が、これで終わりかと危惧いたしました。今回このようなアンケートを受け取り、ああ、終わっていないのだと知り、ホッと致しました。こうやって各自治体等では努力していますが、若者や子どもが一番影響を受ける、テレビやゲームで、一番男女差別、弱い者イジメを平気でやっていることが、情けないです。一般企業よりマスコミや出版業界の方が、昔ながらの体質から抜け出せなく、それが、テレビ等の番組にも平気で出てしまうという体質になっているかもしれません。人々に多大な影響を与えるテレビ番組に、公的機関が、クレームを出したり罰したりできることを望みます。言論の自由の基に女性差別や弱い者イジメ(お笑いタレントをばかにしたりするゲームの番組等)を平気でするテレビ番組は止めてほしいと思います。余談になりますが、私は男女平等と共に学校、家庭等で「マナー」を教えるべきだと思います。「道徳」の時間が今、学校であるのかどうか存じないのですが、「マナーの時間」を少し作ってみてはと思います。ドアを開けたら後ろの人が通るまでドアを開けて待つ。とかスーパーやデパート等で、人の前を通らない。通る時は前を失礼しますという。等々。海外に出ると、日本人は平気で人の目の前を横切ったりしている人がいて、恥ずかしく思います。男女を思いやる、他人を思いやる、小さい頃からこういった最低のマナーを教えることは大切なのではないのでしょうか。(女性 50歳代)
- ・少子化の中でも保育所の入所基準が、母親が家に居ることだけで入れない状況です。兄弟が小さく、3人目が産まれたのに、入れてもらうために大変な努力を要した例を見えています。1人でも病気したりして、病院に行かなければならない時など、助けを求めるのは、遠方の親であることが多い。これでは安心して出産も、育児もできない。少子高齢化を何とかしようと思うのであれば、保育所の入所をもっと大幅に受け入れる方向で検討できないものか。市として考え、取り組むべき

だと思う。ただ、男女が同じように社会に出て、働くことだけが共同参画だとは思いたくない。主婦の仕事をもっと高く評価すべきではないでしょうか第一に子育ては一大事業に相当するものと考えられます。そういう観点から共同参画とは何かを考えてほしい。(男性 60 歳代)

- 家庭を持つことは、経済的基盤を持つことが安定につながります。経済的基盤は仕事を持つことで、男女を問わず生涯仕事があることが望ましいと思います。仕事の手抜きは許されません。しかし、子育ても大切な将来を育てることです。3 歳までの子育ては女性中心の方が良いが、男性の協力無しではできません。掃除、食事の支度など家事も、男性も女性も当たり前の協力ができることが望ましいが、現在は、親の姿を子が見て育っています。親、年の多い者が習慣的に男性優位の立場を見せているため、改善は口で言うほど簡単ではないと思います。できるところから、小さなことからでもよいから、協力できるような生活習慣を作るよう努力するしかありません。
(女性 70 歳以上)
- 男と女が結婚し、離婚した場合女性には温かい支援があり、男性には全く無いのはどうしてですか。子どもを男性が育てて仕事もできない場合のことです。その後も中々仕ことに有り付けず、男女平等にはなっていません。(女性 60 歳代)
- 小さい子どもの時から、そういう環境の中に育っていけば自然に男女平等が身に付いていくと思います。色々な環境の中で皆が助け合い、施設に入れなくても、良い介護者などは家族に介護料など支払いし、もっと家族で生活できるような環境作りが大切だと思います。(男性 60 歳代)
- 今の社会は人々の心が希薄化していると大半の人が思っています。しかし、どうしたらこの問題を修復できるのか、その手立てがわからないまま時は流れ、多くの悪しき社会問題を産んでいます。どこかでこの流れを断らなければ、我々に明るい明日は見えてきません。原因は戦後の日本の家族のあり方の変化にあると思います。「大家族から核家族に」、それは米国的考えと日本の住宅事情がありかつての長老から若者に伝承してきた人の道社会のルールが核家族によって消滅してしまいました。自分流が世の中の主流となり、希薄へと姿を変えてこの世の中に入りました。今の世の中をどうしたら人々が心温まる社会にできるのか考えました。昔から「三つ子の魂百まで」という言葉があります。社会のルール、マナー等は幼児から教育の場で教えて、市のイベントなどではこうしたことを身に付けることを一つは組み込むなどしてください。これらは男女共同参画でなければできません。とにかく社会のマナーを一つでも多く子どものうちから教えて行くしかありません。
(男性 60 歳代)
- 男性と女性という区切りで考えることに重要さを感じません。各々個人が、役割を納得していられると良いです。子ども、大人、学生、誰かの親で、誰かの子で、それぞれの人の役割というものを私はよくわかっていません。私の役割が納得できていたら、自分の役割を大切に、自分の役割を大切にすれば、他の役割のことも理解できる気がしています。残念ながら、私は自分の役割を理解できていません。子どもの頃、「今は勉強するのが仕事」と時折言われました。「仕事」であるはずの「勉強」に責任感を持ったことはありませんでした。子どもにも、責任、役割を負わせても良いと思います。私の子どもの頃は、負わされる物が軽すぎたと今では思います。あの頃から何かと役割を押し付けられ、考えさせられていれば、現在役割を理解する手助けになったかもしれないと思います。要するに、子どものうちから自分の役割に付いて考えさせ、経験させたいということです。自分の役割に付いて教える時に、男性の役割と女性の役割という分け方ではうそが出てきそうで心配です。(男性 20 歳代)
- 夫のいない子どもを育てることはものすごく大変なことです。私も母、子ども 2 人計 3 人食べさせていて大変でした。手当てを止められて大変です。そのことを十分理解してください。お願いします。(女性 50 歳代)
- このような重要なテーマについて意見を求められ光栄に思います。男尊女卑の時代からすれば、ずいぶん良くなったと思います。よくなったのではなくて普通に近づいて来たのかもしれませんが、しかし、男性の意識は十分とは思えません。職業を持った男であれ女であれその企業の発展に努めるのは普通のことです。育児も一代事業です。何より大切な人間を育てるのです。オギャーと生まれ何もわからない一人の人間が、人として成長するのです。一人の子どもにとって自分を大切にしてくれる友達や大人、大勢いたほうが良いと思います。でも保育所が充実し経済支援としても子どもの心を育てることに注がなければ意味がありません。特に幼児期は主たる保育者がいなければなりません。母親が必ずしもベストとは言いきれない事件が多く、こういう事件に父親の影もみえま

せん。私自身のことは家庭に縛られてとはいえ、お陰で自分のことは自分でできるし、年金もいただける時代になり健康に留意し、元気に暮らせています。介護保険のお世話にならないような心がけをしています。私の健康は、子ども孝行と思いそれぞれ家庭を成長させてくれるよう願っています。(女性 60 歳代)

- 家庭内のことは家庭内でルールを作り、女性、男性という枠決めはいらない。たまたま私の家庭は、私が仕事をしています。誰かが家庭の仕事をしなければいけないのだから、それを妻がしているだけです。子どものしつけは、家庭内ですることが大事です。学校では社会のルールを教えて(学業は勿論)いくものだと思います。ただ、サポートをしてくれる所は確かにほしいと思います。子どもを怒れる親がないことが特によくないと感じます。子どもを自由に伸び伸びと育てる「自由」という言葉を勘違いしている親がいるように思います。自由とは相手の自由を尊重してまたは、ルールを守ってその枠決めの中での自由が本当の自由ではないかと思います。(男性 40 歳代)
- 男は必ず働かなければならないので、男にとっても大変な社会です。だからある意味平等な社会なのではないでしょうか。男の子、女の子をどう育てるか、男女平等の問題は子育ての方法にも影響のある大きな問題です。(男性 20 歳代)
- 私は高齢者の仲間に入ると思いますが、今は男女同等に(特に若い人)何事も行われているように思われます。昼間レストランに入りますと、小さな子ども連れの若いお母様方がいっぱい驚きます。むしろ男性の方が社会的責任から重圧が大きいように思われます。子どもを作らない夫婦がとても多いように思います。経済的ではなく、自分達の生活が大切なだけです。子どもを産み育てることは国民として大切な義務であることをもっと教育すべきです。子育ての経済支援は要らないと思います。(女性 70 歳以上)

(4) 職業について

- 子どもが5人おり、仕事も少しながらしています。もちろん、経済的に余裕があるわけでもないです。少子化と言われていますが、ほとんどの人は子どもはかわいいし、育てられるのならもう何人かいてもいいと思っています。私は仕事もしていますが、本当ならば家で夫と子どもを中心に過ごしたいと思っています。育てられるお金があればたくさん育てたいです。仕事がしたくて子どもを産まない人もいるのですが、本音は家で家事、育児をしたいという人もとても多いことに気付いてください。でも 何をするにもお金が必要で(特に子どもに関しては)働かざるをえないのが現実です。仕事の復帰や保育所を充実させるのではなく、お金のために子どもを諦めなくていい方法も考えてほしいです。たくさんの子どものに囲まれた生活ってとっても楽しい、幸せです。これをもっともっといろんな人に知ってほしいです。(女性 30 歳代)
- 政治や経済の世界で女性のトップをつくる必要があります。女性がトップになれば、世の中は変わると思っています。(男性 50 歳代)
- 私の某大手ディーラーで働いていますが、その上司に「小さい子どもがいる女が働いているのは困る」だとか「俺はそんな女は採用しない」と言われてきました。私はその上司が異動してくる前に上司に採用されたので「仕方がない」が「辞めてほしい」と云うことを言うのです。大手会社で、しかも親会社は世界まで進出している所ですが、働いてみると上層部は考え方も古く、そして男尊女卑で信じられません。日本を引っ張るべき会社がこうでは、いくらわたし達が声を上げて何も変わりません。正直このアンケートに答えていても期待していません。本気でやるつもりなら、会社の内部監査などしね法規制など行って下さい。本当にこの会社での対応と上司には怒り心頭です。それでも生きて行くためにガマンして働いています。精神的に疲れてしまいました。(女性 20 歳代)
- 男女の差別などは、年々なくなってきましたが、体力の差等で女性の管理職の難しさを感じることは多々あります。もっと女性の社会進出の認知度を高め、当たり前のように働けるようになれば、とは思っています。(女性 20 歳代)
- 現在、会社員でグループリーダーとして働いております。家庭では夫の両親と子ども2名と夫の6名家族ですが、夫の母との意見が合わず家事は別々になりました。しかし最近会社での残業が多く

なり、家に帰る時間が遅くなる日が続いているのですが、(夫と夫の母親)口を開けば「結婚したのだから嫁として家事をきちんとやれ、子どもはどうするのか。」など、家にいないことをせめられ、仕事を辞めるように言われます。仕事と家事の両立ができなくなって来て何度も退職しようと思いましたが社長に相談しているのですが残業せず帰らせてくれたり、工作中抜け出させてはくれますが、仕事がたまってくばかりで自分でも今後どうすればよいか、わからなくなってきました。家庭をとるか、仕事を取るか毎日まわりの顔色を伺いながら生活しています。ちょっと疲れてきました。

(女性 40 歳代)

- ・ 女性は女性らしく、教養を高め地位向上を目指してほしいです。現在は男性が上位です。
(男性 70 歳以上)
- ・ 女性を優遇する必要は無いが、能力、キャリアについて男女平等に評価し、それに見合う扱いがなされるべきだと思います。女性が無理に職業を続ける必要もないし、また無理にやめさせる必要も無いと思います。もう少しフレキシブルな体制、社会制度を考えていくべきです。(男性 40 歳代)
- ・ 正社員の女性と、派遣社員の女性との、格差に対する対策も推進すべきだと思います。(育児休暇がなく、契約が切られる等) (男性 30 歳代)
- ・ 産前まで、介護職に就いていましたが、やはり職を持たない主婦の方や、仕事をしていても女性の方が主に身の回りの世話をされているケースが 9 割近かったです。そのことに納得されていない方が 5 割位。そのことでノイローゼになっている方が 2 割はいました。今後、自分もゆくゆくは姑を介護する日が来ると思うと育児との両立という点でも不安です。予めもっと地域でサポート情報提供して頂けると心構えとしてありがたいです。男性は男性の、女性には女性の役割があつて当然だと思いますが、それが暗黙の了解にならず、時に労い合える機会があると、もっと潤いある人間、社会関係になると思います。(女性 20 歳代)
- ・ 男女平等と言いながら、社会生活ではまだまだ男性中心です。優秀な女性をどんどん登用しなければいけません。早く社会通念が変わるといいと思います。(男性 50 歳代)
- ・ 家事、育児と仕事を両立させようとすると、誰かに手伝ってもらうか、働く時間を短くすることになると思います。ところが保育園、幼稚園は多いのに学童保育が少なく、気軽に利用できません。働く時間を短くしたくても、そのような仕事では職種に限られるし、学校の長期休暇や行事で休みたい時に困ります。夫婦の片方が仕事に専念し、片方は家事、育児に専念するという仕組みは効率的なものかも知れないが、人間的でないと感じます。これではお互い共通の話題がなくなるのも当然で、形だけの夫婦ができ上がってしまいます。だから「夜遅くまで仕事して当然、休日返上して働くのはすばらしい」という雰囲気を変え、夫婦が二人とも仕事を持ちながら、二人とも家庭に関わるようにしてほしいです。夫の職場でも、お盆に平気で重要な会議を入れたり、「夏期休暇を取るように」と指示しながら、休暇を取らなくても何も言われなかったり、「世間体だから一応ワークバランスを推進しているように見せている」だけで、根底の意識は「家庭などかえりみず仕事をしなさい」ということだと強く感じます。家庭を軽く見る意識を変えてほしいです。(女性 30 歳代)
- ・ 現在結婚したばかりで子どもは居ないのですが、これからの生活を考えると、主人の給料だけでと厳しくパートをするしかありません。パートの自給だと子どもの保育代程度しか賄えないしこの先不安です。パートの人も社員と同じように働いているのでもう少し自給を考えてほしいです。
(女性 30 歳代)
- ・ 女性が働き易いように、保育園等、時間外を増やしてほしいです。(女性 30 歳代)
- ・ 今後もっと女性が動き易い職場づくりや安心して休める体制をつくるのが大事なことだと思います。(男性 60 歳代)
- ・ 雇用に関しては、その仕事に対し、男性より女性の方が劣るのであれば、無理に女性を雇用する必要は無く、能力のみで判断すべきです。何でもかんでも勘違いした男女平等だけは避けたいものです。(男性 20 歳代)
- ・ 男子と女子の性的な差によって歩み方が変わる(退社、産前、産後、育児休暇等)現状の中で、企業(働く場所、部署等)の現状も理解すべきです。企業の労使関係が重要です。(組合の無い会社も多い。また正社員で無い労働者も多い。)(男性 50 歳代)

- ・男女等に育児、介護休暇を取ることは大いに結構だが、それにより抜けた人材のバックアップ制度を行政に期待します。単純に「人間が一人減りました」的な雰囲気では制度としては未熟だと思います。抜けた人材の穴を補って余りある状態で運用すべきです。(男性 20 歳代)

(5) 地域や社会との関わり方について

- ・防犯カメラなどが無くても、安心して暮らしていける町作りに多くの人が話し合っていたらと思います。(女性 70 歳以上)
- ・町内会もしくはその他の女性だけの集い(地域での)でも、女性同士の足の引っ張り合いもあり、中々意見を積極的に出さないし、また、こんなことで地域の人に言われたくないという思いが根強くあると思います。どんな時にも自分の意見が言える人、言える雰囲気が必要と考えます。一人一人が自分も人も大切に考えていく教育が必要かと思えます。男性、女性の役割意識を先ず見直すことからでしょうか。(女性 60 歳代)

(6) 高齢化社会や介護について

- ・現在介護のことで大変な思いをしています。亡くなった人もいます。女性だけではできません。男性は仕事そのしわ寄せは夜になります。疲れてきた頭で見ていることができず、家の中ではそれぞれパニックになって悲しい現実を見る時、十分過ぎる支援は要りません。介護士に心のケア福祉科で話しても現実はわかってはもらえない辛さ、経験の無い人には無理なことでしょう。(女性 70 歳以上)
- ・今から 38 年前のことです。家ができたので、主人の母親 80 歳を(おばあちゃんと呼ぶ)連れて来て一緒に暮らしました。来て半年位で認知症になってしまいました。それからは、毎日のようにお金が無くなったとか、物がなくなったなどと言っていました。しまったところを忘れてしまうらしいのです。探してやればちゃんとあるのです。私は洋品店の仕事をしていたので忙しく、おばあちゃんの言う通りになってはおれず、本当に毎日が地獄の苦しみでした。でも夜になると、主人と二人の息子達が私の話を聞いてくれ、よき相談相手となってくれたのでとても助かりました。そのおばあちゃんも、86 歳で永遠に旅立ちました。あの時今のような制度があったら、おばあちゃんも、私も精神的なゆとりがあったと思います。私もだんだん年を取って来ました。その時期が来たら、有意義に介護保険制度を利用させていただきたく思っております。それと家で病人の介護する人を家族の皆で支えてあげることが一番大切なことだと思います。(女性 70 歳以上)

(7) DV について

- ・DV で本当に困って見える方がたくさん見えます。法律は少しずつ変わってきていますが、殺人事件など事件が起こってから法律を変えるのでは遅いです。もっと DV 被害者のことをよく考えて制度を作っていただきたいです。日々命の危険を感じるとは、どういうことかなのか、安心して生活できるように社会全体で取り組んで頂きたいです。(女性 30 歳代)
- ・暴力も時には必要だと思います。(女性 30 歳代)

(8) 男女共同参画社会の推進について

- ・色々考えさせられると思います。個人の考え、育った環境が違うし、一つの枠に収めることは難しいと思います。人が人を大切に、愛することのできる心を成長させることが一番根本でないかと考えます。(女性 70 歳以上)

- ・私は高齢の故(考え方が古い)なのか男女共同参画社会という言葉自体好きになれません。女性だけを前に押し出している感じがします。あらゆる面で現代は女性が主張しがちです。戦後 60 余年進歩し他のも女性ですし、後退したのも女性だと思います。権利ばかり主張して義務は怠っている、不平不満を言い立てるのも女性の方が多いと思います。男女は身体の構造から異なるのです。思考力も身体の使い方も自ら異なって当たり前だと思います。女性は子宮で物事を考え男性は脳で考えると言った人がいますが、名言だと思います。男性は男らしく女性は女らしく、“らしく”ということが大切だと思います。そして私は“足るを知る”という精神でいきたいと思っています。人間欲には限度がないからです。自分の能力に応じて何事にも一生懸命になることだと思います。(女性 70 歳以上)
- ・「ウィズプランおかげさき」ということを平成 15 年からやっているということを全くアピールできていないと思います。女性と男性を平等にすることばかりに意識が行き過ぎて、女性の過剰保護となっていることが多々あるように感じます。一方向のみの意識にとらわれず、常に周りを見渡して現状を把握して前進してほしいです。(男性 30 歳代)
- ・全体的に今の若い子は男女の差はなく、年配の方 60 代以上の方が平等ではない考えだと思います。もっと何でも年配の人は下ろして若い年代で進めていけばいいと思います。(男性 30 歳代)
- ・男女共同参画というのが、個性と能力を十分発揮できると思うので、一体何を云いたいのかよくわかりません。また、5 年かかってやってこられたことは何をしていたのか経過がわかりません。今後、共同参画社会づくりをして、何かできるのか、どんな組織体制で推進していくのかわかりません。
- ・例えば 市長＝企画班＝町内会＝学校＝会社＝PTA＝公共施設 この中でやっていくのか等、勝手なことを記入してすみません。(男性 70 歳以上)
- ・男女、お互いの人権を尊重し、男女それぞれの個性と能力を生かすことを社会情勢変化にも対応できるように職場や地域での話し合い学習することがいいと思います。(男性 70 歳以上)
- ・目に見える施策をお願いします。(男性 50 歳代)
- ・それぞれの家庭生活や意識が多様化し、一律では決められない難しいことではあるが、基本は人間として男女は平等で、男と女は違うという事実だと思います。石器時代から続いた男女の役割をたかだか数年で激変させるのは急ぎすぎる感じがします。(男性 40 歳代)
- ・男と女は違っていいと思います。男が、女が、ではなく人として、それぞれの役割が果たせる社会の仕組みでるのが理想です。子どもを持つ父親や母親に育児の勉強をしてほしいです。子育て講座や研修などでもっと身近に気軽に受けられるといいと思います。(女性 40 歳代)
- ・テレビなどから発信されるニュースは、今や絶望的なものも多く愕然としております。何とか明るいニュースもどんどん流して頂いて、皆さんの希望を持っていただきたいと思っています。若いヤングミセスの方々はどんどん社会に出て、自分自身を主張されるのも期待しますが、やはり人間教育の要は家庭です。子育ては親である自分しかないのだと思って、もっともっと人間教育に目覚めてほしいと思います。男の人、女の人といった区別を取り除いて人間同士の、といった大きな観点に立ち、一人一人がそれぞれの分野(得意なこと)から始めていって、岡崎をよりよい町に行きたい、温かい心の通う町にしたいと思っています。男女共同参画社会なるものを一人一人が積極的に行動できる会にしてもらい、私もその一員になりたいと思いますし、なっていきたいです。(女性 60 歳代)
- ・行政等の取り組みも必要ですが、認知されていないのが現状だと思います。行政等の取り組みより、一人一人の相手への気遣い、心配り、思いやりが大切だと思います。(女性 30 歳代)
- ・人間は何のために生まれて来たのか、疑問を持っている人は多いと思います。私も長い間思っていました。最近人のために生きることを知りました。それぞれの立場で人のために生きればよく、これからはそれが必要だと思います。それを知る方法を考えてほしいです。(女性 70 歳以上)
- ・生活に基本となる給料は、男性(主人)が働いて収入を得る社会構造となっているため、今の日本社会では、なかなか難しい面があり、女性(奥さん)も仕事を続けられる仕組みができることが先決かと思います。(男性 60 歳代)

- 仕事への能力は、今も男性の方が勝っていると思います。それに対して男女平等の職に対しての意見について私は何もいえません。家庭に対しては女性の方がやはり上だとも思っています。男は男、女は女だとあくまで思っています。お互い相手を思いやる気持ちで、手を差し伸べて上げられる社会づくりで良いのではないかと思います。できる人ができない人を助け合える人作りをしてください。また、私もそうなりたいと思ってなりません。(女性 40歳代)
- 年配のせいかわりに迷いがありました。これからの若い方の意見が大切だとうと感じました。(男性 70歳以上)
- 国と国との間に、男女平等意識の格差があるように、同じ日本であっても、地域によって男女平等意識の認識の格差があります。その現実に対して高い目標、即ちあるべき姿を目標にして、現在おかれた状況から少しでも前進するために、何をやる必要があるかを定め、それを一つずつクリアしていくステップを明確にすることでしょう。私は基本的には、人権の尊重という意識が高まれば男女平等社会の実現に近づくことができると思う。(男性 70歳以上)
- 男女共同参画行事を多くすることが必要だと思います。(男性 70歳以上)
- アンケートの設問が多過ぎて、途中で止めようかと思いました。計画を策定するだけでは、意味が無く、難しいでしょうが実効のある施策に期待します。(男性 30歳代)
- 「男女共同参画」という言葉は10年以上前から聴いている気がしますが、「いまだに、こんなアンケートをしているのですか。」というのが私の印象です。微妙に「課」とか表現を変えているかもしれませんが、以前にも同じようなこと(アンケート)をした気がします。結局、どんな答えが出るまでアンケートするのですかと質問したいくらいです。今は小さい時から男、女同じように教育を受けているので皆、平等だと思っています。けれど大人になるにつれ育った環境の違い、男女の体力の差の違いなど、自分の力ではどうにもならないことがわかって来るので、それぞれ考え方も変わってくるでしょう。それを同じようなアンケートを出して集計して、それが何の意味があるかわかりません。10数年前から何か進歩はありましたか。一部の人のこれをやっていたら、岡崎市も進歩的だとも思われるのでしょうか。岡崎市民がどれほど興味があり、また、真剣に考えている人がいるか聞きたい位です。市民のアンケートが来るのを待つのではなく、自分達の足とか身体を使って、1軒1軒聞いて廻る位の気迫がほしいです。(女性 50歳代)
- 岡崎市がこのような取り組みをしていることを今回、初めて知りました。つまり、一般市民にとって全く知らなかった事業であると思います。このようなものが、市にとって必要な事業であるとは全く思いません。この事業をしてきた意図は何なのでしょう。全く理解できません。明確な方針を明らかにして、市民に十分な周知があつてこそ、このようなアンケートが生きて来るのではないのでしょうか。費用対効果は限りなくゼロに近いのではと思います。(男性 30歳代)
- 「男女共同参画社会づくり」を提唱されて久しいが、現実には着実に実行に移されているとは言い難いです。各人が、それぞれその内容を十分に意識し、地域社会で一つ一つ事案の中で小さいことから実行していかねばならないと思っています。(女性 70歳以上)
- 私は今年の2月に石川県から結婚して引っ越して来ました。まだまだ岡崎市のことを知れていませんが、これからどんどん親しんで行きたいと思っています。今回子のアンケートで「ウィズプラン岡崎」に付いて知りました。ものすごく期待しています。(女性 20歳代)
- 男女平等とは難しいことです。能力差などもあります。人それぞれが思いやりの心を持たなければできないと思います。生活面、精神面に「ゆとり」がないとできません。精神的なゆとりを保つために、市が文化、スポーツ等の市民全員が参加して楽しめることを企画してほしいです。ゆとり、笑いが欠けたら何も無理です。(女性 60歳代)
- 子育て支援や老人福祉、母子家庭、父子家庭また、障害者の福祉の充実をお願いしたいと思います。社会が安定してくれば、男女共に心の安定につながり、お互いに思いやりができ、協力して生活していくことができると思います。(女性 50歳代)
- 以前も参加しましたが、男女共同参画の講演会を企画して下さい。(女性 60歳代)
- 私の家庭では男性は仕事、女性は仕事、家事、育児という考えがあり、男性も家事、育児に参加し

てほしいです。職場のお店等にポスター等で呼び掛けたり、家事、育児をしている男性の体験談などを広報に載せて頂けたら、少しは意識が変わるのでは、と思います。(女性 20 歳代)

- ・計画を絵に書いた餅にしないでください。「なるほど」と言って目で見えるようにして下さい。お願いします。また、結果をもっと広報してください。(性別不明 70 歳以上)
- ・市民にアンケートを取ることは、小さな一歩ですが大きな意味があると思います。(女性 40 歳代)
- ・世代の違いにより、男女共同参画の考え方が異なり、固定した男尊女卑の観念を持つ人が少ないと思います。家庭という、小さな社会単位において、これの影響は少なくなく、このような考えを持つ中高年の人たちに対する働きかけが重要であり、また難しい課題であると思います。次世代の大切な資源である子ども達を育てる上で、男女共同参画の考えを根底にした教育を進めていくことが、大切だと思います。(女性 30 歳代)
- ・男女共同参画を岡崎市が取り組んでいることを知りませんでした。そういう市民は多いと思います。知らずに 5 年も経っていたということは余り変わっていないということではないのでしょうか。「ウィズプラン岡崎 21」を実現したいのであるなら、まずは市民によく知ってもらわなければならないと思います。(男性 20 歳代)
- ・日雇い労働者、ニート、低所得者の方もこの社会づくりに参加できているのでしょうか。(女性 60 歳代)
- ・誠に失礼ですが、市として対応することが可能なのでしょうか。やりばっなしや、ほったらかしにしないですか。市民として、役所を信用しなければいけません、本当にやる気で取り組んでいますか。役人根性で終わることなくがんばって下さい。(男性 50 歳代)
- ・なににつけても先ず教育です。今直ぐ平等にならないのだから、10 年、20 年、30 年先を見据えた取り組みが、必要です。育った環境から、私より年配の方の年代の全ての人に男女平等の理解を求めるのは難しいと思います。その理解が難しいということにも配慮しながら、特に若年層を教育して行き、(教育効率が良い)遅くても 20 年後に平等が実現できるようにして下さい。また、教育には親世代が平等を理解し、子どもに見せてあげなくてははいけません。(現状の親世代が未熟であるから)そのことを踏まえ、20 年後の親世代を楽しく育てること。40 年後の子世代での平等の実現に付いても、見据えて活動していくことが大切です。(男性 年齢不明)
- ・家庭内の安定が社会の安定につながると思います。古い考えかもしれませんが、男が生活に困らない程度の収入を得て、女性が家事を担当するのが、理想と思っています。家事が大方できる範囲で、仕事をしていても良いと思います。要は、男性の収入が安定しない社会は、治安が悪くなると思います。益々弱者の女性は狙われると思います。(男性 40 歳代)
- ・アンケートの結果はどこで(どの団体まで)活用されるのか知りたく思います。市政だより等でも活用されるのでしょうか。(男性 60 歳代)
- ・男女共同参画社会自体の言葉が、不平等を与えていると思います。お互いの役割を明確にして、手伝える範囲でフォローをすることのできる仕組みが大切だと思います。地域住民のフォローとして、近所づきあいや、年配者への気配りを大切にしていけば、共同参画はうまく行くと思います。(男性 40 歳代)
- ・全てに言えることですが、権利ばかり主張して義務を果たしていないと感じます。もっと学ぶべきであると思うし、古き良きコミュニティの復活と家庭と学校でのしつけを見直すべきであると思います。(男性 30 歳代)
- ・この用紙を拝見して、始めて岡崎市が平成 15 年から「ウィズプランおかざき 21」という取り組みがあることを知りました。未だ市民に認知されていないと思います。とてもいい取り組みだと思うので、いろんな人に知ってもらえるよう、いろんなことをしてもらええるといいと思います。(女性 20 歳代)
- ・問 32 に設定された問題点、課題を、市役所内の男性職員でなく、女性を中心として論議をしていただきたいと思います。女性自身が変わることも必要です。勿論それ以上に男性や社会が変わることです。(女性 50 歳代)

- ・職場でも、家庭内でも、男女平等は難しいと思います。女性が子どもを産むその間は、当たり前ですが、産んでからの会社の受入れや、子育てしながらの仕事は大変です。私も5年前に主人を亡くして、仕事をしていますが「身体が二つあったらいいな」と思います。子育ても、仕事も中途半端なことばかりで、不安感に襲われる時もあります。経済的なことのために働けば、子どもと接することが減ってしまう悪循環に何とかしたいと思いつつ5年目が過ぎました。もう少し、子育てを手助けする部分を厚くしないと子どもを持つ以上、男女平等には程遠いと思われます。
(女性 40 歳代)
- ・男女がいろんな意味で少しでも世の中をよくすることを考えてほしいです。市会議員に女性を送るのも男女の協力が必要だと思うし、もっともっと多くの女性を選出するには男女の力が要ります。心のケアが足りないし、親は働くことに一生懸命です。それでは母子が育ちません。山や海に皆を連れてやってほしいです。屋外パーティなどして人と人との交流を深めてほしいです。いい音楽や、いい画をそして心の糧になるようなことを考えてほしいです。人助けになることをやって下さい。
(女性 70 歳以上)
- ・変に意識をするから、こんなことを聞きたくなる状況になると思います。男女関係無くやらせればいいのではないのでしょうか。(男性 30 歳代)
- ・人がその人らしく生きていくために、男女共同参画の視点は大変重要であると考えます。しかし、実際には「共同参画」の理念の正確な理解がされているとは言い難いと感じます。実際的な支援事業と平行に「共同参画」の意識を育み学習活動も大切なのではないかと思います。女性ばかりでなく、男性の生活のあり方も視野に入れ、男女共に現在の生活を見直していくことのできるような内容が良いのではないかと思います。日本の現在の社会を概観する社会学的なアプローチがあっても良いのかも知れません。また、同時に岡崎市における女性学、男性学を柱にした研究機関を行政と市民協働で設置することも、岡崎市の男女共同参画の推進力になるのではないかと思います。
(女性 50 歳代)
- ・(自分も男性であるが) 男性の意識改革が必要ではないかと強く思います。(男性 30 歳代)

(9) その他

- ・より良い社会を願います。ただ僕は今の岡崎市には何も求めていません。充実していると思います。
(男性 20 歳代)
- ・静岡から岡崎に来て3年目になりますが、マンションの住人同士の挨拶が少ないです。全体的に挨拶ができない町だと感じました。毎日のようにひったくりの報道があるのにはビックリしました。あと交通事故が多いのも恐いです。もう少し近隣の友好の場をふやしたり、あいさつ運動を死を下手やってみれば犯罪がへるのではないですか。(女性 30 歳代)
- ・男女平等についての時代に育っていないから、役に立たず申し訳ありません。洗濯やアイロン、掃除、ご飯支度、編み物、残りの時間で読書、こんなばあさんが一人岡崎市民に居ることを知っていただきたいです。年寄りに行政は愛を下さい。習い事と図書館はありがたいです。(女性 60 歳代)
- ・男女共同参画社会づくりのことではないですが、このアンケートには問 19 など、学生や未婚者には答えにくい、質問があつて困りました。(女性 20 歳代)
- ・またつまらないことに税を使われてしまうのかと思うと残念でなりません。(男性 50 歳代)
- ・日本全体、国・地域共にお金が少なくなっていることを考えると、もっと心から改革をやる必要があると思います。意識を変えることが必要で、今までのような調整方式ではやっていけない。税を大切にすること、正しく使う工夫の努力が必要です。(男性 70 歳以上)
- ・参画社会づくりに漠然としてつかみどころがなく、このアンケートは層別(学生、社会人、高齢者みたいな)でできなかったのでしょうか。(男性 70 歳以上)
- ・先日、市役所の方に、電話で、色々なことを尋ねる機会があり、問い合わせたのですが、年配の男

性の方、女性の方は非常に親切に接してくれましたが、税金課の若い男性は、非常に冷たく事務的
というか、面倒臭そうな対応でした。女性からしたら、男性に対してはとても威圧感を感じるもの
なので、もう少し余裕のある対応をして頂きたいと思います。(女性 20 歳代)

- ・現在の私の危機感は、男女格差ではなく、男も女も老いも若さも関係なく、人間間の格差です。男
女参画は非常に大事なテーマですが、(内閣府の中に当該関連の大臣さえいるのですから)もっとひ
っ迫のテーマがあります。やはりこれだけ貧富の差、それがもたらす不条理のあつれき、荒んでい
くと思いませんか。新自由主義の御旗の元にすごい数の貧乏人を生みつつあるアメリカ(この実態
については知人からナマの声を聞きました)の跡を追いかけている日本は危ないと思います。
(女性 50 歳代)
- ・何故私にこのアンケートが送られてきたのでしょうか。無作為で抽出したというのでしょうかけれど、
このアンケートは苦痛でした。同じ内容の質問を繰り返している感じは否めず、クレペリン検査と
は違うけれどある種の適性検査に使われる心理テストのようで忍耐をためられているようでした。
(女性 50 歳代)
- ・申し訳ありませんが 今の私は生活に追われ考える余裕が余りありません。プライベートでゆっく
りできる日がほしいです。介護、生活、住宅、老人が住みやすい岡崎市にしてほしいです。勝手な
ことを書き申し訳ありません。(女性 60 歳代)
- ・男女平等よりも、貧富の格差社会の問題のほうが重要だと思います。(女性 40 歳代)
- ・「箱もの行政」はもう十分すぎます。建物をつくるばかりはやめてほしいです。税金のムダ使いで
す。(女性 40 歳代)
- ・このような計画が進んでいることすら知りませんでした。広報などで、5 年間でどのような変化が
あったのか知りたいと思います。(女性 50 歳代)
- ・全て、生活費に余裕が無いとできません。(男性 50 歳代)
- ・このようなアンケートに掛ける税金を少しでも他に回すべきではなでしょうか。(男性 20 歳代)
- ・簡単に返事ができないことがたくさんありました。(女性 70 歳以上)
- ・(各地域にあるところ)ただ、どうしても「車」が必要な土地柄、これが高齢者になった場合は充
実していても、いま活用できているかわからない所です。そういった意味では全く別の要望ではあり
ますが、市内の道路事情の解消に改善頂きたいです。(男性 30 歳代)
- ・再生紙とはいえ、紙の軽減に力を入れている公共施設へ携帯等のメールアドレスの記入を本人の希
望で書けるスペースを設けてほしい。完全電子化を目指しているならなお更です。今後このような
手紙が、自宅ではなく携帯、パソコンに送られてネットワーク化が進むことを希望します。
(男性 20 歳代)
- ・無作為 3000 人の中に選ばれて、アンケート用紙が来ましたが、母(本人)は 74 歳の高齢者であり、
要介護 3 で自宅で生活しています。私(長女)が代理で答えるわけにはいきませんので、無回答で返
送しました。いくら無作為でも、このようなアンケートが来ると困惑しています。今後は止めてく
ださい。(女性 50 歳代)
- ・友達がほしいです。(男性 30 歳代)
- ・今後、配偶者に先立たれる方が多い社会になって行った場合、町内でよく話し合っ、いつも声を
掛けあっていくことを希望します。今、私は見ると孫と一緒に生活できて居りますが、今後、私自
身どうなるかやはり不安なこともあります。主人を家で 4 年間介護しました。施設に入れて頂きま
したが、考えさせられることが多かったのも、家に連れて来ましたが、でも今は大分考えも変わった
と思います。(平成 12、8、13~14、4 家 18、3、22 死亡)これからは、変わる市も希望します。自分
自身の健康にも十分気をつけて楽しい日をとしたいと思います。(女性 70 歳以上)
- ・私はこの国の行く末が大変心配です。そのため多少過激な考えを持っていますが、考えていること
にご理解下さい。先ず、大切な税金を使ってこんなにくだらないアンケートは止めた方が良くと思

います。市政を良くするため市民にアンケートをすることは大切だと思いますが、今回のアンケートは質問がくだらなさ過ぎると思います。(私自身時間の無駄遣いをさせられた)社会の問題は市政でどうこうできる問題でないと思います。市政が唯一できるとしたら教育だけです。もっと幼少期から「人を思いやる」という気持ちが持てれば、このようなアンケートのような問題は少なくなるのではないのでしょうか。本当は家庭で教育すべきことですが、戦後の西洋的(アメリカ的)平等意識で、余りにも自己中心的な平等意識な人間が増えてしまい、難しくなっていました。せめて公共教育の現場でどうにかすべきでないのでしょうか。(男性 30 歳代)

- ・ 市政レベルでやって何の効果があるのでしょうか。費用対効果を考えること無駄に思えます。(男性 60 歳代)
- ・ 無作為に抽出とのことですが、年寄りの意見より若い世代の方の方がいいと思います。年寄り、アンケートを読むのも大変です。(女性 70 歳以上)
- ・ 私達が子育てをする頃と比べると、色々な点で変わってきたように思います。社会全体が、そういう風潮になったのだと思います。息子夫婦を見ていると、そのことがよくわかります。だんだんよくなっていつている面もあると、思います。岡崎市民(30 万人)皆が、安心して暮らしていける、地域社会になることを願っています。少しでもお役に立てば幸いです。(女性 60 歳代)
- ・ 社会人になり、初めて他県から引っ越して来ました。一人暮らしをするのも今回が初めてで、地元から比べると岡崎は大きな市で一人一人が自立しているようにも思いました。しかし、地域の取り組みやコミュニケーションをとる場がわかりにくく感じます。私も折角なので岡崎の地域活動に参加したいと思っています。(女性 20 歳代)
- ・ お仕事ご苦労様で御座います。世界平和を願い、色々な困難な問題も多々あると存じますが、男女各々が地域の特色を活かした(楽しい、よりよい)男女共同参画社会づくりに慢心していただけますように心よりお祈り申し上げます。(女性 70 歳以上)
- ・ 今は老後のことが一番心配です。年金は減る一方だし本当に楽しい生活ができるのか、税金ばかり取られ、低所得者は一番いじめられている感じがして仕方がありません。(女性 50 歳代)
- ・ 活動内容が全く市民に伝わっていません。このアンケートの意味も不明です。超高い市民税を払わせ、このような無駄なアンケート活動も自粛して下さい。(男性 40 歳代)
- ・ 地域活動に付いてどのように行なわれているか全く知らないため、問 20 は回答に困ります。(女性 20 歳代)
- ・ 若い男女のタレントがくだらないクイズ番組のひな壇に並んで参加し、ばかげたことをしている番組が多すぎます。地道にボランティア、農業山林、漁業、畜産等汗を流している若者達を追う、テレビ番組をもっと増やしてほしいです。また、介護施設ホーム等に専門学校卒業して入っても、2 年位で辞める若者が多いと聞きます。仕事のきついのは承知で辛抱できるが、女の先輩達のイジメ的扱い、他の仕事との賃金の差、等で意欲をなくして辞めて転職する若者が身近に多くいます。(女性 70 歳以上)
- ・ 今回アンケートに付いては、市民より 3000 人を無作為に抽出とかがかかっていますが、ひょっとしたら男性の方が多くなっていませんか。(男性 50 歳代)
- ・ 平成 20 年にこちらに来て、このような活動を行なっていることを知ることができてよかったと思います。余り法的なことは詳しくはありませんが、このような問題はとても大事だと思いますので、これからはがんばって下さい。(男性 20 歳代)
- ・ 本アンケートの宛名が「世帯主(夫の名前)様方私の名前」とされていたのには失笑しました。(女性 50 歳代)
- ・ 年配者を尊重して、今ある自分は、人生の先輩なくしてはありません。若者もいずれ年老いていく身です。年寄りの幸せを確信できれば、我が老後の心配も少しはなくなるのではないのでしょうか。(女性 50 歳代)
- ・ 子育て支援、介護、看護の施設をもっと増やしてほしいです。介護施設は、順番の状態、費用の高

い民間では、入れられません。もっと安く安心して移動しなくてよいようにしてほしいです。市の人件費をもっと民間並みにして、手当ても支給しすぎその分を介護子育て支援に回したら良いと思います。私達の税金を私達のために使ってほしいです。市の職員、公務員は、民間に比べ優遇され過ぎに感じます。(男性 60 歳代)

- アンケートの質問内容と解答項目に矛盾することがあり、回答に困る部分があります。(アンケート内容に再考の予知あり) 2 本アンケートが今後の男女共同参画社会づくりに役立てられるか不安です。市役所の自己満足で終わるのではないかと感じます。(男性 40 歳代)
- 「意識調査」に参加させて頂き有難う御座いました。それぞれの課題について、自分なりの考え、状況を再確認することができました。調査事項の中には、アンケートの結果をどのように具体的にするか、どのように「仕組み作り」をするのか想定できない物がありました。「意識調査」なのでやむを得ない場合がありますが、もう少し、調査員の目線を下げて表現(問い方)を考えては如何でしょうか。(男性 60 歳代)
- せっかくのアンケートゆえ実効を上げるため、記名式にし、簡単な粗品をだしたらどうでしょうか。(費用的に無理かもね) 何を聞いているのかわからない質問もありました。もう少し平易な質問にしたほうが良いと思います。(解説もあり救われているが)(男性 60 歳代)
- 訳わからないアンケートをしないでほしい、押し付けるべきでないです。キレイ事ばかり言ってもしょうがないし、信用していません。期待していません。命令すべきではありません。(女性 30 歳代)
- 現在岡崎市で働いている女性 1 独身者(一人暮らし) 2 既婚者 3 既婚者で親と同居 4 親類と同居、四通りにアンケート(意識調査)してはどうですか。(男性 50 歳代)
- 凶悪犯人が出てくるのは良くないので、直ぐにやめて下さい。住人家族全員が無事生活できるようにお願いします。(女性 60 歳代)
- 少子高齢化の時代に、学校教育で子ども達に将来結婚するように言って、未来に希望を持たせてほしいです。昔から子は「宝」と言われ、人々が安心した生活を送ることが高齢者自身余生を楽しめると思います。(男性 60 歳代)